



# 大いちょう



令和5年 2月9日  
富士市立伝法小学校  
校長 鳥居 朝野

新しい年が始まり、1か月が経ちました。令和4年度も終わりに向かい、一日一日が疾風のごとく過ぎ去っていきます。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、12月には「教育に関するアンケート(保護者回答)」にご協力くださり、ありがとうございました。前期と比べ子供たちがどのように変化したか、本データを分析し、来年度に向けての教育活動に生かしていきたいと考えております。集約結果をお配りいたしますので、ご家庭でもご一読ください。お子様と一緒に目を通しながら1年間の成長を振り返り、来年度につながる励ましをしていただけますようお願いいたします。

## 令和4年度 教育に関わるアンケート結果(後期)

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 分析 ○:満足(80%以上肯定)						
否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない) ▼:課題(50%以上が否定)						
番号	評価内容(カッコ内は教職員)	対象	前期 肯定割合	後期 肯定割合	前後期比 較	分析
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	95%	96%	↑	○
		保護者	98%	98%	→	○
		教職員	97%	100%	↑	○
2	子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	81%	93%	↑	○
		保護者	84%	90%	↑	○
		教職員	79%	77%	↓	○
3	子どもたちは、重点目標「心をつなごう」を意識して学校生活を送っている。(「心をつなごう」に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	88%	90%	↑	○
		保護者	74%	74%	→	○
		教職員	96%	85%	↓	○
4	子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域のよさを話題にすることがある。(小中一貫教育の考えが深まっている。)	児童	96%	97%	↑	○
		保護者	40%	39%	↓	▼
		教職員	75%	69%	↓	○
5	地域の人や、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(CSディレクターと連携し、地域の人・もの、社会との関わりを深めている。)	児童	97%	99%	↑	○
		保護者	94%	95%	↑	○
		教職員	79%	92%	↑	○
6	子どもたちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	89%	89%	→	○
		保護者	82%	83%	↑	○
		教職員	64%	65%	↑	○
7	子どもたちは、「ほかほか言葉」を使って話している。	児童	91%	90%	↓	○
		保護者	81%	79%	↓	○
		教職員	82%	81%	↓	○
8	子どもたちには、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	86%	91%	↑	○
		保護者	93%	94%	↑	○
		教職員	93%	96%	↑	○
9	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしていく。	児童	94%	95%	↑	○
		保護者	56%	58%	↑	○
		教職員	82%	87%	↑	○
10	子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	83%	85%	↑	○
		保護者	91%	92%	↑	○
		教職員	93%	96%	↑	○
11	授業が楽しい。(子どもたちは、授業を楽しく行っている。)	児童	前期なし	95%	比較なし	○
		保護者	前期なし	92%	比較なし	○
		教職員	前期なし	100%	比較なし	○
12	子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	92%	94%	↑	○
		保護者	86%	86%	→	○
		教職員	89%	88%	↓	○
13	子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	91%	91%	→	○
		保護者	77%	79%	↑	○
		教職員	72%	100%	↑	○
14	子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	81%	82%	↑	○
		保護者	89%	84%	↓	○
		教職員	86%	100%	↑	○
15	子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	87%	86%	↓	○
		保護者	78%	77%	↓	○
		教職員	82%	100%	↑	○
16	子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。家庭でタブレットやパソコンを使って学習することがある。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	92%	94%	↑	○
		保護者	67%	73%	↑	○
		教職員	79%	100%	↑	○
17	子どもたちは、運動に楽しく取り組んでいる。(体を動かすことを楽しんでいる。)	児童	91%	90%	↓	○
		保護者	90%	90%	→	○
		教職員	97%	100%	↑	○
18	子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	79%	79%	→	○
		保護者	89%	87%	↓	○
		教職員	89%	77%	↓	○
19	子どもたちは、毎日の給食を残さず食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	82%	84%	↑	○
		保護者	70%	72%	↑	○
		教職員	79%	85%	↑	○



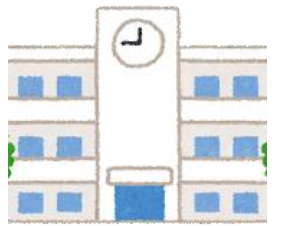
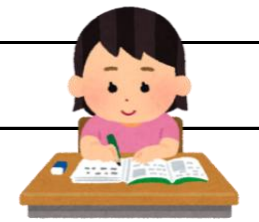
肯定・・・評価A（そう思う）＋評価B（どちらかと言えばそう思う）分析 ○：満足（80%以上肯定）		否定・・・評価C（あまりそう思わない）＋評価D（そう思わない） ▼：課題（50%以上が否定）				
20	子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。家庭で、犯罪被害や交通事故を防止するための方法について話題にしている。	児童	91%	93%	↑	○
		保護者	88%	89%	↑	○
		教職員	71%	85%	↑	○
21	もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	前期なし	96%	比較なし	○
		保護者	前期なし	83%	比較なし	○
		教職員	前期なし	88%	比較なし	○
22	子どもたちは、コロナウイルスに感染しないように、「手洗い」や「ソーシャルディスタンス」を心掛けている。（新しい生活様式を意識して生活している。）	児童	93%	94%	↑	○
		保護者	96%	95%	↓	○
		教職員	93%	92%	↓	○

## 集計結果について(考察)

### よいあらわれ

#### ◎学校が楽しいについて 設問1・8

「学校が楽しい。」と感じている割合が前期に引き続き3者ともに高い数値となっています。子どもたちは、新しい生活様式に順応しながら、様々な制約の中でも工夫しながら学校生活を楽しんでいることが分かります。また、「悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。」という項目についても前期より高い数値になっており、悩みや不安があったとしても安心して学校に来ることができる環境があることも「楽しさに」つながっていると思われます。令和5年度も、自分があるべき姿を見失わず、心も体も充実して勉強や運動等を楽しむ子どもたちを、これからも支えていきます。



#### ◎学習関連について 設問11・12・13・14・15・16

「授業で学習したことが分かっている。」「授業を楽しく行っている。」と感じている割合が3者とも高い数値となっています。学校では、制約の中ですが、工夫しながらペアやグループ学習を積極的に取り入れ、どの子も誰とでも考えや分からなさを聴き合う中で、考えを摺り合わせ、自分の考えや疑問をもち、追究する力を培いながら学び合う楽しさを実感できるように授業を実施してきました。また、ICTを効果的に活用して学習を進めてきたことも成果につながったと思われます。家庭学習の習慣が身に付いてきていることも「分かる。楽しい。」につながっています。令和5年度も、学ぶことが楽しいと思える学校を目指して努力していきます。

#### ◎安全な生活について 設問20・21

「きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。」では、3者ともに80%を超える数値となりました。学校では、定期的いきまりの確認をしたり、安全点検を実施したりして、子どもたちが安全に過ごせるよう取り組んできました。また、放送で子どもたちに呼び掛け、一人一人が自分で行動を考える場面も設定してきました。先のことを見通し、危険を回避する「危険予知力」は生きる力としてとても大切です。伝法小学校の周辺は、道が狭いのに交通量が多い道路が多くあります。登校時や下校時に見守りをしてくださっている方もいますが、「自分の命は自分で守る。」という意識を強くもてるように、ご家庭でも、危険予知力を高めるなど「こうなったらどうなる。」と想像できることや判断の大切さを話題にさせていただき、安全に心掛けて生活できるように声掛けをお願いします。



### 改善したいあらわれ

#### ◎地域のよさについて 設問4

設問4については、昨年度に引き続き、感染拡大防止のため、地域の行事等が実施されないこともあり、家庭で地域のことを話題にしたり地域のよさを感じ取ることは難しいのかもしれませんが、しかし、学校では、コミュニティ・スクールの強みを生かし、「人・もの・社会」から感動のある学びを推進してきました。CSだより等で地域の方や保護者の皆様に授業に入っていた様子を紹介させていただきました。昔の学校の様子を当時の資料等を使って教えていただいた際は、子どもたちは目を輝かせて話を聴いていました。本物との出会いや体験活動などを取り入れることによって感動ある豊かな学びになりました。令和5年度も、「たて（小・中学校）の接続」と「よこ（家庭・地域）の連携」を軸とし、9年間を見通した小中一貫教育を進めています。子どもたちは、学校や家庭だけではなく、学校・家庭・地域が協働し、様々な人と人とのつながりを通して、豊かな心の醸成や学びの充実を図っていきます。

### 心掛けていきたいこと

#### ◎「ほかほか言葉」について 設問6・7

前期の課題として挙げられていたあいさつについては、地域の方から、「あいさつしてくれてうれしい。」というご意見をいただきました。また、前期に引き続き、目を合わせて会釈してくれる子も増えました。声には出さないあいさつですが、温かい心が伝わってきました。今年度の伝法小学校の重点目標は「心をつなごう」です。あいさつは心を通い合わせるための第一歩です。この温かさが来年度にも引き継いでいけるよう引き続き支援していきます。

「ほかほか言葉」については、3者とも若干ですが、前期の値を下回りました。後期になり友達関係も深まり慣れが出てきたことによる影響もあるかもしれません。前期に引き続き、校内でとても気になる子ども同士の会話を耳にすることがあります。言葉は、周りの環境に大きく影響を受けると言われます。自分自身の発言や行動を振り返り、社会性を身に付けていくためには、学校と家庭で協力して取り組んでいくことが肝要だと考えます。他者を思いやる想像力や判断力、コミュニケーション能力が子どもたちに育まれるよう引き続き支援していきます。



#### ◎「早寝・早起き・朝ご飯」・食事について 設問18・19

子どもたちの生活や学習の基盤となる重要な項目です。学校では、朝礼や保健指導等で1年間を通して指導してきました。学校生活の満足度の高さを支えるとても大切な柱となる部分です。新年度を迎える前に、ご家庭でもこの1年間を振り返り、来年度よいスタートができるよう話題にしてください。令和5年度も、食事、睡眠など基本的な生活習慣を大切にし、精神的な安定を図り、充実した学校生活を送れるようご協力をお願いします。

多くの皆様アンケートのご回答、ありがとうございました。今回のアンケート結果では、前期から3者とも肯定割合が高い項目が多くありました。昨年度に引き続き、感染症対策のため様々な制約のある中での生活となりましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちは、この1年間でとても多くの成長が見られました。今後も、家庭、地域、学校が力を合わせ、子どもたちが、さらに大きく成長していけるよう取り組んでいきます。

